

大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

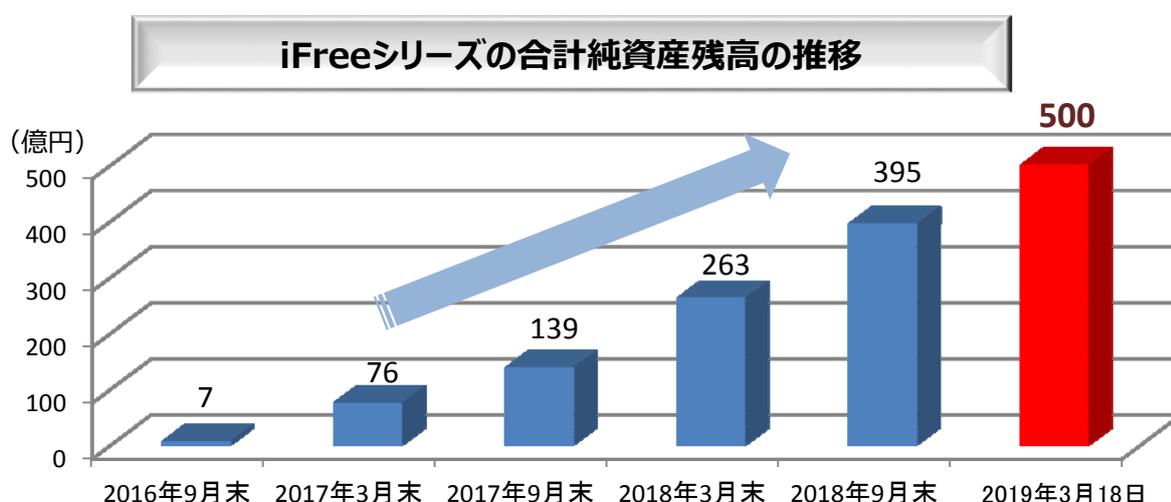
## さまざまな投資ニーズにお応えする『iFree（アイフリー）』 シリーズ合計純資産残高、500億円突破！

この度、「iFree（アイフリー）」シリーズ合計の純資産残高が、3月18日に500億円を突破した旨、お知らせいたします。

同シリーズは2016年9月に、「投資（investment）、もっと自由（Free）に」の思いを込め、インターネットを利用するお客さまをはじめ、さまざまな投資ニーズに対応するファンドシリーズとして誕生しました。おかげさまでご好評をいただきまして誠にありがとうございます。

今後ともさまざまな商品やツールをご提供させていただき、お客さまの多様な投資ニーズにお応えしてまいります。引き続き当シリーズをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ iFree（アイフリー）のWebサイト：[https://www.daiwa-am.co.jp/ifree\\_series/index.html](https://www.daiwa-am.co.jp/ifree_series/index.html)





# 自由に選べるファンドシリーズの豊富なラインナップ



iFree	iFree NEXT
<b>あなたらしい投資</b>	<b>もっと個性的な投資</b>
「低水準の運用管理費用」と「豊富な商品ラインナップ」が特徴の <b>シンプルなインデックスファンドシリーズ</b> （「iFree 年金バランス」を除く）	特徴のある成長分野に着目した <b>個性あるインデックスファンドシリーズ</b>
購入時手数料 <b>0%</b> 運用手法 インデックス <small>（「iFree 年金バランス」を除く）</small>	購入時手数料 <b>0%</b> 運用手法 インデックス
<b>iFree</b>	<b>iFreeNEXT FANG+インデックス</b>
<b>iFree 年金バランス</b>	<b>iFreeNEXT NASDAQバイオテクノロジー・インデックス</b>
	<b>iFreeNEXT NASDAQ100インデックス</b>
	<b>iFreeNEXT 日本小型株インデックス</b>

iFree Active	iFree レバレッジ
<b>一歩先ゆく未来への投資</b>	<b>レバレッジを活用した投資</b>
世界の変革をとらえ、未来を見据えた有望なテーマへの投資機会を提供する <b>アクティブファンドシリーズ</b>	高い投資リターンを獲得をめざす <b>レバレッジファンドシリーズ</b>
購入時手数料 上限 <b>1.08%</b> (税込) 運用手法 アクティブ	購入時手数料 上限 <b>2.16%</b> (税込) 運用手法 インデックス・ブルベア
<b>iFreeActive ゲーム&amp;eスポーツ</b>	<b>iFreeレバレッジ S&amp;P500</b>
<b>iFreeActive EV</b>	<b>iFreeレバレッジ NASDAQ100</b>
<b>iFreeActive エドテック</b>	
<b>iFreeActive チャイナX</b>	
<b>iFreeActive メディカルデバイス</b>	

## 【投資リスク】

各ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

- 価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、債券の価格変動、リートの価格変動）
- 為替変動リスク
- カントリー・リスク
- 新興国への投資リスク
- 集中投資のリスク
- 中国への投資リスク
- 小型株式への投資リスク
- 株価指数先物取引の利用に伴うリスク
- その他（解約申込みに伴うリスク等）など

※上記リスクはファンドによって異なります。くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ インデックスファンドの基準価額の動きに関する留意点

ファンドの投資成果は、複数の要因から必ずしもインデックスに連動するとは限りません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「追加的記載事項」をご覧ください。

## 【ファンドの費用】

### お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	● iFree、iFreeNEXT …… ありません。 ● iFreeActive …… 販売会社が別に定める率<上限> <u>1.08% (税込)</u> ● iFree レバレッジ …… 販売会社が別に定める率<上限> <u>2.16% (税込)</u>
信託財産留保額	ありません。

### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬率)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して、<最大> <u>年率 1.1988% (税込)</u>
その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託・上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※掲載ファンドの最大料率を示しています。くわしくは各ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

以上